



平成 26 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 世紀東急工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 佐藤 俊昭
コ ー ド 番 号 1898 東証 1 部
問 合 せ 先 財務部長 小出 正幸
TEL. 03-3434-3256

業績予想（連結）と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 26 年 1 月 31 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異について下記のとおりお知らせいたします。また、平成 26 年 3 月期の連結決算において特別損失を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

I. 業績予想（連結）と実績値との差異

1. 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	74,000	4,000	3,900	2,900	15.40
実績値（B）	76,188	4,779	4,730	3,793	20.02
増減額（B－A）	2,188	779	830	893	—
増減率（%）	3.0%	19.5%	21.3%	30.8%	—
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 3 月期）	75,602	3,731	3,551	3,705	19.36

2. 差異の理由

連結の実績値につきましては、主に単体の業績の修正に伴うものです。建設事業の受注高が順調に推移したことにより、前回予想を上回ることとなりました。利益につきましても、下記 II に記載の特別損失の発生はあるものの、工事の採算性の向上や一般管理費の削減に加えて、繰延税金資産の計上による税金費用の減少により、前回予想を上回ることとなりました。

II. 特別損失（減損損失）の計上について

（単位：百万円）

用途	種類	場所	金額
事業用資産	土 地	東京都他	1,046

事業所の移転計画等により、上記資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（1,046百万円）として特別損失に計上することとなりました。

以 上